**C型肝炎母子感染について**

　C型肝炎キャリア(HCV-RNAが持続的に陽性の状態)の母体から出生した場合、生まれてくる子供にC型肝炎が感染する確率は、約10%と言われています。

　感染しなかった場合は、母親から胎盤を通して移行したC型肝炎の抗体(HCV抗体)が自然に消えます。移行したC型肝炎抗体は、1歳6か月ぐらいまでに消失すると考えられており、それまでは定期的な採血による検査が必要です。

　感染した場合には、1歳ぐらいまでにHCV-RNA(C型肝炎ウイルスそのもの)の陽性が確認されます。HCV-RNA陽性が確認されたら、肝臓の状態を知るために今後定期的な診察が必要です。HCV-RNA陽性が確認された子供さんのうち、およそ30%は生後3年頃までに自然に採血による検査ではHCV-RNAが消失します。ただし、お子さんの体内からC型肝炎ウイルスが完全に排除されたかどうかはまだ明らかではなく、その後も定期的な診察が必要です。

診察スケジュール

 1生月　　　　　（　　／　　）

 3生月　　　　　（　　／　　）　　　以上、5回子供さんより採血します

 6生月　　　　　（　　／　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　採血項目

 1歳　　　　　　（　　／　　）　　　　 AST ALT HCV抗体

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 HCV-RNA(C型肝炎ウイルス)

 1歳6生月　　　（　　／　　）

母体の感染力を調べるためお母さんの出産後の以下の検査結果を教えていただきます。

　　AST 　 ALT 　 HCV抗体 　 HCV-RNA 　 HCVグループ群別

 ＊　お母さん自身も内科での定期的な診察と抗ウイルス治療が必要です。